|  |
| --- |
| テーマ：　高齢者を消費者トラブルから守る　地域で見守り  　　　　　～地域で気づき・つなぎ・広がる消費者教育～ |
| テーマの目標  自分の消費行動を振り返り、主体的に考え行動できるようにするとともに、地域を支える高校生として消費者教育を広めようとする態度を身に付ける。 |

１　契約とは？消費者トラブルとは何か？若者はだまされやすい？

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（知・理）  ①契約や消費者トラブルについての基礎的基本的知識から、問題点が  把握できた。  ②契約や消費者トラブルについての基礎的基本的知識を身に付けた。。 | 知識力 | A：①が達成できた。  B：②が達成できた。  C：どちらも達成できなかった。 | 自己評価 | 消費者とはどのような存在であるべき？ |
| 若者はだまされやすいか？ | 【授業で出てきたキーワード】 | | | |

２　通信販売トラブルをクリティカルに分析しよう

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（関・意・態）  ①通信販売トラブルに関心をもった。  ②通信販売広告の問題点を意欲的に分析した。  ③自分のこととして捉え「消費者の責任」と関連づけて考え、実生活に生かそうとした。 | | 批判力 | A：目標を３つ達成できた。  B：目標を２つ達成できた。  C：目標を１つ達成できた。  D:達成できなかった。 | 自己評価 |
| まとめ～本時の学習の要点をまとめよう～ | 通信販売トラブルを減らすには「消費者の責任」にあてはめて何ができる？ | | | |
| 感想 | | | |

３　高齢者はなぜ悪質業者のターゲットになるのか？

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（思・判・表）  ①高齢者が陥りやすい消費者トラブルをクリティカルに考察することができる。  ②消費者トラブル被害防止策を考えることができる。  ③高齢者に伝えたいことを小千谷にちなんだ簡潔な言葉でまとめることができる。 | | 分析力 | A：目標を３つ達成できた  B：目標を２つ達成できた。  C：目標を１つ達成できた。  D：達成できなかった。 | | 自己評価 |
| 高齢者が悪質業者のターゲットになる理由 | 今日の学習のまとめ  ～高齢者に伝えたいことは何だろう？～ | | | 小千谷に関連するモノで表す | |

４　異変を察知！高齢者のサインをみつけよう！

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（思・判・表）  ①高齢者の異変に気付くことができ、消費者トラブルの疑いに思考を繋げられる。  ②高齢者のトラブルを未然に防ぐために、周りの人がどう行動するか考えられる。 | 問題発見能力 | A：２つの目標が達成でき、キャッチ  コピーで表現できた。  B：１つ以上の目標が達成できた。  C：目標を達成できなかった。 | | 自己評価 |
| 【今日の学習を自分の言葉でまとめてみよう】 | | | 高齢者を見守るキャッチコピー（案）  →次の授業で決定へ | |

５　高齢者を消費者トラブルから守ろう！声かけロールプレイ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（思・判・表）  ①高齢者の消費者トラブルの問題点を想像し、適切な声かけで高齢者を守ることができる。  ②トラブル回避策やトラブル防止策を考え、収集・整理して、高齢者へ伝えることができる。  ③地域の見守りをキャッチコピーで表現できる。 | | 問題解決能力 | A：目標を３つ達成できた。  B：目標を２つ達成できた。  C：目標を１つ達成できた。  D:達成できなかった。 | 自己評価 |
| どんな声かけをしますか？  ワーク１  ワーク２  ワーク３ | 対策・周りの人の心がけ | | 高齢者を見守るキャッチコピー  見守りティッシュ広告へ | |
| 消費者相談窓口の役割 | |

６　地域へ発信！小千谷高校2年生から高齢者へ伝えよう（作成）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（技能）  小千谷に住む高齢者の消費者トラブルを防止するために、既習内容を整理、統合し、わかりやすく工夫してまとめることができる。 | 構成力  展開力 | A：既習内容を整理・統合し、KP法で工夫し簡潔にまとめることができた。  B：既習内容を思い出し、必要なことを書き出せた。  C：わかりやすくまとめる工夫をした。 | | 自己評価 |
| ○○商法の説明  もし、引っかかったときは  防止策  ４  ３  ２  １  ４  ３  ２  １  ４  ３  ２  １ | | | 作成POINT | |

７　地域へ発信！小千谷高校2年生から高齢者へ伝えよう（発表）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標（思・判・表）  学んだ知識を統合して、高齢者が分かりやすく、説得できるように伝えることができる。 | プレゼン力  表現力  聴く力 | 発表内容  A：説得力がある内容にまとめられた。  B：簡潔にわかりやすくまとめられていた。  C：表現に乏しく、わかりにくい。 | 発表方法  A：説得力ある発表だった。  B：スムーズに内容を発表できた。  C：発表内容がわからなかった。 | 良かったグループ  班 |
| 【他グループの発表からわかったこと】 | | 発表をした感想 | | |

８　まとめ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １～７の授業をとおして感想 | | 生活場面を踏まえて実践すること、社会の一員としてするべきことは何か、学習したことで考えに変化があったか？今後の課題は何か？など記入しなさい。 |
| 消費者とはどのような存在であるべき？ | 自己評価A～D |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2年 | 組 | № | 名前 |